

## 製品・サービス動向-国内

## ■レノボ・ジャパン：多様な会議室のレイアウトに対応するコンパクトな NPU 内蔵「ThinkSmart Core Gen2」を発表

(1月14日)

レノボ・ジャパン合同会社 (<https://www.lenovo.com/jp/ja/>) (東京都千代田区) は、会議室での使用に最適化され NPU を搭載した次世代会議システム「ThinkSmart Core Gen 2」を発表した。Microsoft Teams Rooms 版、Zoom Rooms 版を提供する。



ThinkSmart Core Gen 2(レノボ・ジャパン)

ThinkSmart Core Gen2 は、「Microsoft Teams Rooms」もしくは「Zoom Rooms」をプリインストールした会議システム。2021年に発売した「Think Smart Core」の第二世代モデルとなる本製品は、コンパクトなモジュラー型の設計と卓越した性能を組み合わせることで、会議室の広さやレイアウトに関わらず、あらゆる会議体験を次のレベルに引き上げる。

また、USB Type-C 経由で PC と接続可能な BYOM (Bring Your Own Meeting) モードにより、ThinkSmart Core に接続されたディスプレイやカメラ、マイク・スピーカーなどを PC 側の周辺機器として直接

活用することで、さらに多くのオンライン会議プラットフォームでも使用可能。これにより、業務 PC から自分の使い慣れたプラットフォームで会議に参加でき、柔軟な会議環境を実現する。

さらに、クラウド上の「Microsoft 365 Copilot」や「Zoom AI Companion」の機能である、話者認証や議事メモの自動作成をはじめとする AI 由来の会議体験をシームレスに実現する。将来的には AI を活用したさらに多くのスマート機能が利用可能になる。

専用のクラウドベースの管理基盤である「ThinkSmart Manager」を活用することで、搭載されているインテル vPro プラットフォームの機能を活用した遠隔制御を含む、リモート管理に対応する。本機には、「ThinkSmart Manager Premium」1年間が標準で付帯される。



ラインナップ例 (レノボ・ジャパン)

豊富なラインナップも特徴。会議システムとして必要なコンピュータ、タッチコントローラー、さらに 180° 視野角を実現したビデオバーである「ThinkSmart Bar 180」を同梱した Full Room Kit に加えて、Microsoft Teams や Zoom 認定されたカメラやオーディオ機器との接続を想定し、コンピュータとタッチコントローラーをセットにした構成なども販売する。

Microsoft Teams Rooms 版 (1月14日発売) は、

「ThinkSmart Core Gen2+Controller for Microsoft Teams Rooms」(508,200 円税込～) など 4 製品、また、Zoom Rooms 版(3 月下旬以降発売予定)は、「ThinkSmart Core Gen2 for Zoom Rooms」(393,800 円税込～) など 5 製品を用意する。

## ■ ObotAI : Web 会議の同時翻訳アプリ「Minutz」が大規模リニューアル

(PRTIMES : 1 月 8 日)

株式会社 ObotAI (<https://obot-ai.com/>) (東京都港区)が提供する同時翻訳アプリ「Minutz」は、サービスの大規模リニューアルをしたと発表。



### Minutz の特長 (ObotAI)

Web 会議の同時翻訳アプリ Minutz は、Web 会議の内容(音声)を 30 言語以上へ自動翻訳して、AI が自動で文字起こしを行い、会議ごとに最適なモデル(GPT-4o、Gemini 1.5 など)を選択することができ、ObotAI 独自の音声認識技術に最新の生成 AI を活用することで、高度なコミュニケーションが実現する。また、会議中の重要なポイントを AI が瞬時に抽出し、簡潔な要約を生成できるため、時間が限られたビジネスシーンでも、議論の論点を素早く把握することが可能となっている。さらに、会議中の発言履歴を AI が分析し、過去の発言を踏まえて、発言をより適切に解釈し、誤訳を防ぐ機能も搭載している。

今回のリニューアルのポイントは以下の通り。

(1) 文字起こしと翻訳の精度向上: 翻訳アルゴリズムの改良により、専門用語や業界特有の表現も自然かつ適切に翻訳する。

(2) スムーズな同時翻訳: リニューアルした Minutz は、Web から収集された 680,000 時間の多言語およびマルチタスクの教師付きデータでトレーニングされた、自動音声認識(ASR)システムと ObotAI 独自の翻訳システムを搭載しており、スムーズな同時翻訳を提供する。

(3) カスタマイズ機能と文化翻訳: 用語や項目の自由な追加が可能な「辞書登録機能」を実装している。加えて、企業ごとの分かやルールを自動的に判断し、細かなニュアンスまでを翻訳する「文化翻訳」機能もある。

(4) 活用シーンの拡張: 従来の Minutz は主にオンライン会議で利用されていたが、今回のリニューアルにより、スマートフォンやタブレットでも便利に使用できるようになった。これにより活用シーンがさらに広がる。

## ■ 導入利用動向-国内

### ■ ウィーメックス: 遠隔医療システム「Teladoc HEALTH」を静岡県内に初導入

(PRTIMES : 2024 年 12 月 18 日)

PHC ホールディングス株式会社(東京都千代田区)参加のウィーメックス株式会社(<https://www.wemex.com/>) (東京都渋谷区)は、「企業版ふるさと納税」制度を活用し、静岡県伊東市に、リアルタイム遠隔医療システム「Teladoc HEALTH」を寄付すると発表。

今回寄付するのは、「Teladoc HEALTH Viewpoint」1 台と「Doctor Cart」2 台で、静岡県内への Teladoc HEALTH の導入は初めてとなる。今回寄付する 3 台は、伊藤市民病院(静岡県伊東市)にて活用される予定という。

静岡県伊東市に位置する伊藤市民病院は、地域唯一の総合病院で、「救急を中心とした急性期診療」「地域包括ケアシステムへの関わり」「若い医療スタッフの教育」という 3 つのミッションを掲げられている。本寄付を行うことで、ウィーメックスは地域内の医療連携の推進につなげていきたいとしている。

## セミナー・展示会情報

<国内>

### ■ブイキューブセミナー情報（1月～2月）

「Legal Innovation Conference ～2024年の株主総会の振り返りと2025年の運営に必要な準備～」 「商談を自動採点！

ZoomとAIで構築する最強のセールスプロセス」 「Zoomミーティング・ウェビナー・Phone

利用開始セミナー」など

会場：オンライン/オンデマンド/東京

主催：株式会社ブイキューブ

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

### ■Webex Meetings 関連ウェビナー（1月）

会場：オンデマンド

主催：シスコシステムズ合同会社

詳細・申込：[https://www.cisco.com/c/m/ja\\_jp/training-events/events-webinars/collaboration-webinars.html](https://www.cisco.com/c/m/ja_jp/training-events/events-webinars/collaboration-webinars.html)

国内その他：<https://cna.jp/cna/event-j.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。CNA.jpサイトの情報もご参照ください。

## 業界の動き

オンライン会議・UC業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事のみ）ですが、CNAレポート・ジャパンでは、業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。皆様の情報収集のひとつとしてご活用いただければ有難いです。

### ■フェイスブック（遠隔会議&UCトレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

### ■X（旧：Twitter）（遠隔会議&UCトレンドワッチ）

<https://twitter.com/cnarjapan>

### ■メーリングリスト（dte-forum）

<https://cna.jp/cna/dteforum-ml.html>

今回、伊藤市民病院に導入される「Teladoc HEALTH」は、伊藤市民病院の医師や看護師を聖マリアンナ医科大学救急医学の医師が支援する「D to P with D または N」（患者が医師または看護師という場合の遠隔コンサルテーション）形式で活用される。Teladoc HEALTH は、リアルタイムでの画像共有に高い評価を得ているため、特に地域で不足している診療料や画像読影の遠隔コンサルティングにおいて貢献する。

Teladoc HEALTH は、専門医の少ない医療機関と遠隔地の専門医をオンラインでつなげる、リモート操作可能なリアルタイム遠隔医療システム。

超音波診断装置などの周辺医療機器と接続し、患者の容体を短時間で把握することができ、遠隔地にいる医師主導で操作を可能とし、現場にいるような感覚で情報を取得できる。

「Teladoc HEALTH Viewpoint」は、持ち運び可能なタブレット型で、院内活用のみならず院外における訪問診療や訪問看護に活用されている。

「Doctor Cart」は、十分な診療スペースの確保が困難な日本の医療現場でも扱いやすいコンパクトな設計の小型カートモデル。遠隔操作で水平・垂直方向に動く最大20倍ズームができる高性能カメラを搭載している。



リアルタイム遠隔医療システムのラインナップ。（本製品には医療機器に該当する機能は含まれていない。）（ウィーメックス）

## 定期レポートバックナンバー

定期レポートのバックナンバー（1999年～最新号）は下記 URL で閲覧できます。

<https://cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

## お知らせ（重要）

### — 配信システムの変更について：

長年配信システムのひとつとして使用してきました、まぐまぐですが、すでにご案内の通り、まぐまぐでの配信を 2024 年 10 月末号にて終了いたしました。今後は、CNA レポート・ジャパンのサイト、X（旧ツイッター）、facebook ページ、dte-forum メーリングリストでの配信とさせていただきます。

この定期レポートをまぐまぐで受信されている読者の方は大変お手数ですがいずれかの受信方法へご変更お願い致します。

>CNA レポート・ジャパン サイト

<https://cnar.jp>

>X(旧ツイッター)

<https://x.com/cnarjapan>

>facebook ページ

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

>メーリングリスト（dte-forum）

<https://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

今後とも宜しくお願い致します。

■CNAレポート・ジャパン 2025年1月15日号

ホームページ: <https://cnar.jp>

お問い合わせ: [inquiry@cnar.jp](mailto:inquiry@cnar.jp)